

平成 27 年度 同好会事業報告

算数・数学 同好会 世話係名 花形敏郎 会長名 岡部温樹

月 日	実 施 し た 事 業 内 容	参加人員
5月1日	第1回 算数数学同好会	20
7月30日	第2回 算数数学同好会（夏期講習会） ・ 県大会レポート検討 ・ 北信ブロック大会指導案検討 ・ 講演会 演題「算数・数学の指導のあり方を考える」 講師 東京学芸大学名誉教授 杉山吉茂先生	33
8月9日	長野県算数数学教育研究会「夏の研修会」参加	
10月30日	長野県算数数学教育研究（上小）大会参加 ・ レポート発表 小山小学校 木下美季先生 「小学校1年生の『かたちづくり』における算数的活動と『図形を構成する力』のとらえについて」	7
11月11日	北信ブロック算数数学教育研究（上高井）大会 授業者 常盤中学校 小宮山瞳先生 単元 1年 変化と対応 指導者 信州大学教育学部教授 宮崎樹夫先生 講演会 「評価改善から授業改善へ」	57
1月9日	長野県算数数学教育研究会「冬の研修会」参加	

算数数学同好会

今年度、算数数学同好会では、算数数学研究委員会と合同で夏期講習会、北信ブロック算数数学教育研究(上高井)大会と二つの行事を行いました。

夏期研修会では、北信ブロック大会の本時案検討、県大会レポート審議、東京学芸大学名誉教授 杉山吉茂先生の講演会を行いました。北信ブロック大会本時案検討では、「アサガオの成長の様子を比例とみてよいか」というところで議論が盛り上がりました。その後の講演会では、講師の杉山吉茂先生から、「算数・数学の指導のあり方を考える」と題して講演をしていただきました。本時案検討で話題にしていた「ともなって変わる二つの数量を比例とみること」について、「比例とみれば予測ができる」ことの根底には、「比例とみれば、かけ算が使える。だから比例とみなしたい。」ということをおっしゃっていました。また、なぜ学校では珠算ではなく、筆算を教え

るのかについて、筆算は計算の記録をたどることで自分が何を間違えたかがわかる。先生に頼らなくとも、間違いを自分で見つけて直すことができる。算数数学は、自立した人間を育てるのに役立つことも教えていただきました。

北信ブロック算数数学教育研究（上高井）大会では常盤中学校を会場に、小宮山瞳先生に一年「変化と対応」（比例・反比例の利用）場面で授業を公開していただきました。郡内外から五十六名の参加者、そして信州大学教育学部教授 宮崎樹夫先生にご指導および「評価改善から授業改善へ」と題してご講演をいただき、大変充実した研究大会となりました。

長野県算数数学教育研究（上小）大会には、上高井を代表して、木下美季先生に昨年度の算数数学研究委員会の授業をもとに小学一年「かたちづくり」の授業についてレポート発表をしていただきました。

今後も、算数・数学を学ぶ楽しさをさらに実感できる研修の場となりますようご協力をお願いいたします。

（会長 岡部 温樹）